

令和5年第3回東大和市議会建設環境委員会記録

令和5年6月28日（水曜日）

出席委員（7名）

委員長	大川元君	副委員長	木戸岡秀彦君
委員	二宮由子君	委員	早川美穂君
委員	木下富雄君	委員	押本修君
委員	金井康哲君		

欠席委員（なし）

委員外議員（4名）

議長	東口正美君	4番	関綾子君
6番	尾崎利一君	13番	高峰章君

議会事務局職員（5名）

事務局長	吉沢寿子君	事務局次長	嶋田淳君
議事係長	吉岡繁樹君	主任	関口百合子君
主任	高石健太君		

出席説明員（なし）

会議に付した案件

- (1) 座席の指定について
- (2) 所管事務調査の協議について

午前 9時28分 開議

○委員長（大川 元君） ただいまから令和5年第3回東大和市議会建設環境委員会を開会いたします。

○委員長（大川 元君） 初めに、座席の指定について、本件を議題に供します。

お諮りいたします。

委員の座席につきましては、ただいま御着席のとおりとしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川 元君） 御異議ないものと認め、さよう決します。

○委員長（大川 元君） 次に、所管事務調査の協議について、本件を議題に供します。

本日は、当委員会において行う所管事務調査について御協議いただきたいと思います。

正副委員長としましては、「温室効果ガスの排出量削減等を行うための施策に関する市の取組について（環境対策課）」を所管事務調査として行いたいと考えておりますが、御意見等ございましたら、御発言をお願いします。

○委員（金井康哲君） 近年ではカーボンニュートラルといった言葉をよく耳にするようになりました。国でも2025年カーボンニュートラル宣言を発表いたしました。当市におきましても、東大和市地球温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガス排出量の抑制に取り組んでいることかと思えます。こうした取組に対する目標を達成させるには、市民や民間企業が関心を持ち、一体となることが必要不可欠だと思われまので、この所管事務調査の内容は大変有意義なものかと思えます。

以上です。

○委員（木戸岡秀彦君） おはようございます。

今回の「温室効果ガスの排出削減等を行うための施策に関する市の取組について（環境対策課）」ということですが、先ほど金井委員からもありましたけれども、環境省が2050年カーボンニュートラル宣言をして、2013年度から46%削減するということを目指しています。

地方公共団体においても計画をして実施するように努めるということが言われておりますけれども、東大和市においては第四次東大和市地球温暖化対策実行計画が令和4年から令和8年の5年間で、これに関しては組織・施設における、全ての事務事業における排出される温室効果ガスを対象にして進めていくということですが、この調査に関してはかなり内容的にも多岐になりますので、建設環境委員会の所管の範囲である環境対策課を主として、先進事例等を調査しながら提言できればいいかと思えます。

例えば、ごみの分別とか廃棄物減量とか、森林整備、保全推進、様々ありますけれども、そういった部分で、ぜひ先進事例を参考にして取組ができればと思います。

以上です。

○委員長（大川 元君） ほかに御意見ございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（大川 元君） お諮りいたします。

本委員会の所管事務調査におきまして、調査事項を「温室効果ガスの排出量削減等を行うための施策に関する市の取組について（環境対策課）」とし、調査目的を「現状と課題を調査することにより、施策の充実に資

するため」とし、調査方法を「担当部課より説明を求める。必要に応じて現地調査を行う。」こととし、調査期間を「調査が終了するまで。なお、閉会中においても継続して調査することができるものとする。」ことで決定したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川 元君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

お諮りいたします。

ただいま決定いたしました所管事務調査を閉会中も継続して調査するため、会議規則第101条の規定により、委員長から議長に申出を行いたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大川 元君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

○委員長（大川 元君） これをもって、令和5年第3回東大和市議会建設環境委員会を散会いたします。

午前 9時33分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 大 川 元